

資料保存

このリストに掲載されている資料は、授業期間中は**人文科学図書館 ラーニングcommons**で利用できます。(一部他館にしか所蔵がないものもあります)

実際に読んだもの／利用したものにはチェックをつけましょう。

資料保存論

- もっと博物館が好きっ! : みんなと歩む学芸員 / 四国ミュージアム研究会編 教育出版センター 2016
学芸員たちが現場での経験から、ミュージアムの役割や多彩な魅力・楽しみ方、こだわりや想いなどを紹介。『博物館が好きっ!』の続編。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-021-MOT]
- 博物館の未来をさぐる / 神奈川県博物館協会編 東京堂出版 2015
博物館の今日的な課題や実践事例を紹介し、将来の可能性を展望しています。神奈川でのシンポジウム記録。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-021-KAN]
- 博物館資料保存論 / 石崎武志編著 講談社 2012
博物館資料をどう保存すればいいのか。現場で求められている基礎知識を紹介。具体例から実践的に資料保存について学べます。
[他に 国際文化学図書館開架室 069-4-I]
- 人文系博物館資料保存論 / 青木豊編 雄山閣 2013
博物館で資料はどのように保存されるのか? 資料を後世に伝えるための基礎作業について、人文系博物館の事例から検討しています。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-4-ZIN]
- 博物館資料保存論 / 本田光子, 森田稔編著 放送大学教育振興会 2012
放送大学で放送されている、学芸員資格関連科目の教科書。
[他に 社会科学系図書館開架室 2012-3729]
- 文化財保存学入門: 感じとる智慧・つながる記憶 / 秋田貴廣編 丸善プラネット 2012
文化財保存学とはどんな学問分野か。保存、修復の各分野に携わる専門家が説き起こす入門書。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-0-BUN]
- 博物館資料取扱いガイドブック: 文化財、美術品等梱包・輸送の手引き / 日本博物館協会編集 ぎょうせい 2012
博物館資料を、実際に現場でどう取り扱うか。文化財の梱包といった実務上の知識を、絵画、陶芸といった種別ごとに紹介。
[他に 国際文化学図書館開架室 069-4-N など]

博物館資料の臨床保存学 / 神庭信幸著 武蔵野美術大学出版局 2014

資料の保存で一番に挙げるべきなのは、長期間伝えられてきた現状を維持し、劣化等をこれ以上進めない事。診断・予防・修理が一体となった臨床保存を提言しています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-4-KAN]

標本学 : 自然史標本の収集と管理 / 松浦啓一編著 東海大学出版会 2014 第2版

自然史系博物館における資料の取り扱い方法を紹介する。自然史系の資料の根幹となる標本について、詳しく紹介しています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 460-73-HYO]

標本の本 : 京都大学総合博物館の収蔵室から / 村松美賀子企画・構成・文 青幻舎 2013

自然史系博物館の資料と言えば標本です。標本の多様な姿、資料の収蔵保管の特徴や注意点などを、京大博物館の膨大な資料から分かり易く紹介。読むと自然史の魅力に引き込まれます。

[他に 自然科学系図書館2F開架室 460-7-96]

ブルーシールド、災害や盗難等からの保護

災害から文化財をまもる / 文化財保存修復学会編 ; 三輪嘉六 [ほか] 講演 クバプロ 2012

資料保存では、災害への対処も重要な検討課題です。東日本大震災を受け、保存修復の立場から、改めて災害から文化財を守る方策についてまとめています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-SAI]

「盗まれた世界の名画」美術館 / サイモン・フープト著 ; 内藤憲吾訳 創元社 2011

文化財の盗難は古今東西例を問わない。特に絵画などの美術品の盗難は有名である。盗難と経済取引を巡る実相を取材した書

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 706-7-HOU]

美術品はなぜ盗まれるのか : ターナーを取り戻した学芸員の静かな闘い / サンディ・ネアン著 ; 中山ゆかり訳 白水社 2013

美術品の盗難と取り戻すまでの経緯を、学芸員の視点から冷静に描き出す。文化財の価値と保存という理念を問いかけています。

[他に 国際文化学図書館開架室 706-7-N など]

災害と資料保存 / 日本図書館協会資料保存委員会編 日本図書館協会 1997

全国図書館大会分科会「災害と資料保存」の発表ほかをまとめ論集。資料保存の最大の敵となる災害に対してどのように対応すべきかを示しています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 014-6-SAI]

文化財は守れるのか? : 「阪神・淡路大震災の検証」 / 文化財保存修復学会編 クバプロ 1999

阪神・淡路大震災における文化財の救済活動を踏まえ、災害から文化財をどうすれば守れるのかを検証し考えています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-BUN]

- 災害文化の継承と創造 / 橋本裕之, 林勲男編 臨川書店 2016

東日本大震災からの復興過程で地域文化がどんな役割を果たしたのか。国立民族学博物館の、被災地での多様な実践の成果。災害にかかわる従来の文化研究の視野を拡張する試みとなっています。

[準備中]

伝統技術と修復

- 文化財をまもる人たち / 文化財保存修復学会編 クバプロ 2009

毎回、保存修復の今を伝えるテーマを取り上げる「文化財の保存と修復」シリーズ。文化財の修復に携わる装こう分野や絵画、漆工といった現場では、後継者や材料・道具の不足など課題が山積しています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-1-BUN]

- 美を伝える：京都国立博物館文化財保存修理所の現場から / 京都国立博物館編 京都新聞出版センター 2011

文化財の保存修復の現場から、資料を後世に伝える作業とその成果を、平明な文章と写真等で解説しています。

[他に 国際文化学図書館開架室 709-1-K]

保存科学、文化財科学

- 高松塚古墳は守れるか：保存科学の挑戦 / 毛利和雄著 日本放送出版協会 2007

国宝壁画の劣化が見つかり、石室の解体保存へと進みました。壁画が劣化した理由は何か。保存科学の最新知見や国内外の壁画保存の調査を踏まえた検証です。

[他に 国際文化学図書館開架室 210-2-M]

- 見てわかる文化財のIPM / 文化財虫害研究所編 文化財虫菌害研究所 [2010]

文化財IPMとは何か。管理上の注意点などを分かり易くまとめたハンドブックです。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-1-MIT]

- 文化財保存科学ノート / 沢田正昭著 近未来社 1997

文化財保存科学の研究史と基本的研究方法を示したうえで、木・金属・石など材質ごとの保存処理方法や、遺跡の保存処理までを網羅したテキストです。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-1-SAW]

- 文化財の保存環境 / 国立文化財機構東京文化財研究所編 中央公論美術出版 2011

文化財を保存するための自然科学的な環境要件について解説し、資料のために、より良好な保存環境をつくり出し、維持管理する手法を解説。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-0-BUN]

- 文化財保存環境学 / 三浦定俊, 佐野千絵, 木川りか著 朝倉書店 2004

博物館の資料にとって、安全な保存環境を設計する方法を解説。温湿度、光、生物、振動、災害、盗難など項目は多岐にわたっています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-0-BUN]

文化財のための保存科学入門 / 京都造形芸術大学編 飛鳥企画 2002

文化財保存の科学的手法は数多く、専門特化しています。本書は保存科学の文化財への応用的側面を学ぶ際に、不可欠な入門書です。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-0-BUN]

文化財IPMの手引き / 三浦定俊編集 文化財虫菌害研究所 2014

文化財IPM(総合的有害生物管理)の全体像を示した図書。農業分野で提唱されましたが、文化財でも同様に、薬剤による燻蒸に頼り過ぎず、生物による資料への被害を抑制するかが問われています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-1-BUN]